



小樽双葉進路だより

進路指導部

令和6年10月2日

第20号 発行

「視野を広げること」

< 知ることの重要性 >

秋。1年生、2年生ともにコースの選択や選択科目調査が行われる時期です。特に1年生の特進コースは文理選択、総合進学コースは進学クラス・総合クラスの選択を考える時期です。

さて、そんなときに「私数学嫌いだから文系～」とか「勉強大変そうだから総合クラスにする～」とか、そんなものさしで決めてしまっただけは人生激しく後悔します。だって、その選択は大げさでもなんでもなく「一生」を左右する選択になりますから。文理やクラスが決まるということは、「そこからの進路」が絞られるということです。

ではどんなものさしを持てばよいのか？すごく単純です。

それは「あなたが将来どうなりたいか」から考えることです。ただし、単純ですが「簡単」ではありません。それはあなた自身が「自分は何が好きか？」「自分は何がやりたいのか？」「自分は何に向いているのか」などを真剣に考えることです。とは言え、人は知らないものは考えられないし選ばせん。だからこそ今一番大事なことは「視野を広げること」、つまりたくさんの世界を「知ること」なのです。それがあなたの選択肢を広げることであり、可能性を広げることに繋がります。



< 知る機会を増やそう！ >

ではどうやって知るのか？例えばオープンキャンパス。例えば1年生のマイナビ未来ビュー、2年生の京都の関係校説明会などです。実際に見て話を聞いて体験する。そんな体験があなたの視野を広げてくれます。「実際に見たら思っていたのと（良くも悪くも）違った！」なんていう経験もしたことがあるはず。あえて今まで全く興味のない進路について体験してみることも良いかもしれません。

1年生の先日の未来ビューではたくさんのブースがあり、大学や専門学校の担当者による具体的なお話、一般企業による体験する機会がありました。それを「楽しかった」だけで終わらせるのはもったいない！ぜひその体験から気づいたこと、学んだことも活かしながら自分の将来の道を考えていてもらえたらと思います。

